

令和3年 3月の園だより



目に見えない非認知能力を支えるには
寒さも少し和らぎ、園庭で遊ぶ子どもたちが、途中で上着を脱いだり、水筒のお茶を飲み、また遊び始めるという姿が見られるようになってきました。今年度も残り1か月となりました。

これまで、新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、子どもたちには今できることを工夫しながら、しっかり遊ぶことで心や身体の成長を止めないよという思いで、緊張感を持って行事や保育をすすめてきました。来年度も引き続き、感染症対策を講じながら、一人ひとりが持って生まれた個性が、その子なりに育ってくれるように、楽しい保育を目指して参ります。

保護者の皆様には、お忙しい中、作品展、保育参観と続けて保育園に足を運んでいただきました。子ども達の園における様子や遊んでいる姿を見られる中で、お子さんの成長を実感されたことと思います。また、その一方で集団生活の中で、お友だちと仲よくしているか、先生の話を受けているかなどご心配なこともおありかと思ひます。お子さんは成長に感じ、家庭と保育園では違う姿を見せることもありますので、何か気にかかることがあれば、担任にお声をかけてください。

さて、昨今から小学校の学習指導要録が改定され、これまでの教科書中心の学習から、持っている知識をを使って自分が向き合っている課題を解決する力「問題解決型学力」を重視した学習に変わりました。また、自らが意欲を持って取り組む「能動的学習」として、話し合いの中で思考力や判断力を養う「主体的・対話的で深い学び」と言われる、通称「アクティブ・ラーニング」という学習が全教科に取り入れられています。このような「能動的学習」には、小さい時からあそびを通して「意欲やおもいやり、自制心、忍耐力、自尊心」と言われる「非認知能力」が身につけていることが大切だと言われています。

別の言い方をすると、「非認知能力」は小さい時からお友だちと一緒に遊び、順番を守ったり、楽しさだけでなく、ときには喧嘩もしながら、どうしたらうまくいかなと自分で考えながら身につく力のことです。「非認知能力」は、もう一つの学習である「読み、書き、算」のような「目に見えてできる力(認知能力)」の基礎にもなりますが、子どもたちが大きくなって自分のことは自分で決める「主体性」のもとになる、とても大切なものですが、主体性を伸ばすには、ご家庭でわが子をいろいろな意見を持った一人の人間として向き合うことが求められます。

我が娘が米国の最優秀生徒に選ばれたボーク重子さんの著書『子どもの非認知能力向上のために家庭でできること』の中で3つのポイントがあります。①「子どもの個性を認めること」・・・これをやりなさいと頭ごなしに言わないこと、あなたは どう思う?と意見を尊重すること、家庭の中でも何かの役割を話し合いで持たせると、個性(その子の特性)が見つかります。

②「子どもの情熱を見つけること」・・・その子がやりたいことを中心に数多くの選択肢を提示すること、一つの物事に没頭し、集中している状態を見逃さないこと、親の目で見て将来に直結しないようなことでも応援すること。

③「親の姿を見せること」・・・夢や目標を見つけ、実現に向けて努力するところや、失敗を恐れず挑戦する姿を子どもに見せること。

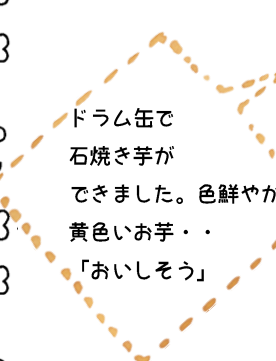
子どもたちに「こんなことができるようになってほしい、こんなふうになってほしい」という思いや願いを持つことは大切なことです。しかし、その思いが強すぎたり大人の思いに添う子どもがいい子だというような関わり方をしていると、子どもに本来芽生えるはずの主体性が育ちにくくなります。子育てはすぐに結果が出るものではありません。子どもたちの小さな成長の喜びを幸せと感じ、楽しみましょう。一年間、保育園運営にご理解、ご協力いただきありがとうございました。 園長



地域の方とのふれあい



子どもたちの喜ぶ顔をやさしく見守ってくださる地域の方々・・・感謝です



ドラム缶で石焼き芋ができました。色鮮やかな黄色いお芋・・・「おいしそう」



青空の下 中下校長先生の絵本の読み聞かせタイム



ひまわりぐみさんは4月から小学校へ心の準備を少しずつ

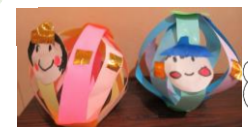


卒園式
日時：13日(土)午前11時より
場所：1階ホール



年長ひまわりぐみ 10名のこどもたちの門出を祝って心をこめてお祝いしたいと思います。

一人ひとりの子どもたちの思い出に残る式となり、保護者の皆様と成長を確かめ合うひと時になればと思っています。



ひなまつり

『桃の節句』といわれるこの行事は、女の子の成長を祝うお祭りです。もともとは中国で、3月の最初の巳の日に行われていた「上巳(じょうし)の節句」と、日本の人形信仰が結びついたものといわれています。「上巳の節句」とは、川で身を清め、不浄をはらう習慣で、邪気をはらう力があるといわれた『桃花酒』が飲まれました。外国の人から見てもひな祭りは、本当に美しく楽しい日本の伝統行事です。ひな人形を飾るときの気持ちを忘れず、美しい心を持ち続けたいものです。

引用一年中行事なるほどBOOK一